

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	主 査 名 : 水村 容子 就任年月 : 2008 年 4 月
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008 年度より着手している障害をもつ学生等の大学生活を保障するための環境整備に関する研究事業成果をまとめる (刊行企画)。</li> <li>・公開研究会の実施</li> <li>・2010 年度全国大会における見学会の実施</li> <li>・2009 年度以降の新規研究課題への取り組み</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無 : 有 主査 : 水村容子 (東洋大学)、幹事 : 阪東美智子 (国立保健医療科学院)、山脇博紀 (筑波技術大学)、委員 : 大村薫 (日本女子大学)、小幡敏信 (本田技研工業)、亀屋恵三子 (神戸市立高等工業専門学校)、古山周太郎 (奈良県立大学)、菅原麻衣子 (東京工業大学)、鈴木義弘 (大分大学)、高橋儀平 (東洋大学)、西野達也 (広島大学大学院)、山崎晋 (明治大学大学院)、吉村和美 (吉村和美住環境デザイン研究所)、松田雄二 (東京理科大学)、石橋達勇 (北翔大学)、山田義文 (東洋大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)	刊行WG : 「障害を持つ学生等に対する教育支援制度・施設環境に関する研究」の成果をまとめ、刊行準備を行う。	
2010 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無 : 有 委員会 HP アドレス : <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s12/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s12/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会 Safe Community 活動からみたこれからのまちづくりー誰もが住み続けることのできる地域づくりとはー 参加者数 36 名 2. 「障害をもつ学生等の大学生活環境に関する」公開研究会 参加者数 27 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 継続事業である「障害をもつ学生等の大学生活を保障するための環境整備に関する研究事業」に関しては、今年度中に再度公開研究会を実施する予定。 2. 全国大会開催期間中に、先進的な福祉サービスを展開する富山型デイサービスセンターに関する見学会を実施した。 3. 新規研究課題に関しては「居住」をキーワードとしたテーマ設定に関するコンセンサスが得られた。次年度以降公開研究会などを開催する予定。
委員会活動の問題点・課題	1. 大学生活環境に関する刊行企画が当初の予定から遅れてしまっている。 2. 本小委員会には聴覚に障害を持つ委員が参加しているが、委員会参加に伴う情報保証費が年度の半ばで尽きてしまった。委員会活動への平等な参加を確保するための仕組み (サービス面・資金面) の整備が求められる。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。